



～ゲートボール競技会～  
女子チーム第3位

2019年8月31日(土)・9月1日(日)  
行方市北浦運動場



大会前、「今の私たちがいける！優勝狙うよ!!!」と語ったのは、これまでチームを束ね、チームメイトを導いてきた主将の今野寄子さん。第70回和歌山国民体育大会では、惜しくも第4位という結果となり、悔しい思いをしてから早4年。その悔しさをバネに毎日のように練習をし、今年こそはとリベンジに燃えて今大会に臨みました。

1日目の予選をトップで通過し、いい流れで迎えた2日目。初戦の相手は、愛媛県代表の方々で厳しい戦いとなりましたが、持ち前のスキルやチームメイトとの連携で、見事勝利することが出来ました。

2回戦目も厳しい戦いであり、なんとかポイントを重ねましたが、接戦の末惜しくも負けてしまいました。ですが、すぐに気持ちを切り替え3位決定戦に向け、チーム全員が改めて団結し試合に臨みました。

3位決定戦は、監督である今野司郎さんの指示が今まで以上に飛び交う中、チームが一丸となって挑み、見事勝利をすることができました。

大会後、主将である今野寄さんは、「リーグ戦から1点差で制してきて、負けてしまった準決勝でも最後に相手チームをあっと歩のところまで追い詰めることが出来たので満足しています。

毎試合ごとにチームメイトは成長し、粘り強いプレーをしてくれました。また、応援してくれた地元・茨城県の皆さんに感謝いたします。」と話していました。



7. 桜づつみがある堤防付近では、桜づつみ保存会の方々が、参加者に満開の桜の写真つきのグッズを渡して、桜づつみのPRを実施していました。8. ご夫婦で、マイポールを持参しての参加。同じペースで歩く姿に、仲の良さを感じられました。9. 町内の各所にある神社仏閣などについて説明する利根中学校生徒と説明を聞く参加者。10. ロングコースのチェックポイントにて。水分・塩分・糖分補給をしっかりと行い、目指せゴール！



Congratulations!



ショートコースをトップでゴールした福田さんは現在67歳。元気な秘訣をお伺いすると「働くことかな? (笑)」と、歩き疲れた様子もなく、素晴らしい笑顔で答えてくれました。お疲れ様でした!



ロングコースをトップでゴールした小川夫妻は、なんと日立市からの参加とのこと。ご夫婦ともに、普段から運動をされているようで、ゴール後の取材も快く応じてくれました。お疲れ様でした!



参加者  
ショートコース 381名  
ロングコース 117名

45年ぶりの国民体育大会!!  
45年ぶりに茨城県で開催された国民体育大会。9月28日(土)からの開幕となり、利根町では、デモンストレーションスポーツとして「ウォーキング」が10月5日(土)に開催されました。  
開会式の会場となった利根町公民館前の特設会場には、ショートコース381名、ロングコース117名の計498名の参加者が集まり、会場は参加者で溢れかえっていました。  
今大会は、「ショートコース(約7km)」と「ロングコース(約18km)」の2種類のコースがあり、各参加者は、町内の神社仏閣の歴史や風景などを堪能しながらゴールを目指しました。  
大会スタート地点では、町内の3小学校の児童たち(文小・3・6年生、布川小・文間小・5・6年生)が沿道に並び、「頑張れ!」や「いつてらっしゃい!」など大きな声が飛び交い、手に持った旗を振ったり、ハイタッチなどをして参加者に対して力いっぱい応援しました。  
また、町内の8カ所では、利根中学校生徒による神社仏閣などの歴史についての説明があり、各スポットで耳を傾ける参加者も見られました。「そんな歴史があったんだねえ! 数十年住んでいるけど内容までは知らなかったわ(笑)」など、町民の方でも新たな発見があったみたいです。  
45年ぶりに本県で開催された国民体育大会が無事に終ることができたのも、多くの参加者はもちろん、1年以上も前から長期間にわたり準備などをしていただいた各関係者の方々のご協力により、盛大に開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

いきいき茨城ゆめ国体2019

2019年10月5日(土) 天候 晴れ  
利根町公民館前 特設会場



1~4. ビギナーからエキスパートまで、老若男女多くの方にご参加いただきました。カメラを向けると、みなさん最高の笑顔とピースで返してくれました。5. スタートおよびゴールした参加者に対し、素敵な演奏を披露していただいた「布川不動陸」の方々。6. ショートコースのチェックポイントにて。子どもたちはまだまだ余裕の表情でした。

